

令和5年度介護ロボット・ICT導入支援事業計画書(3)

複数の事業区分にまたがる場合は、
事業ごとに分けて作成(記載例は
P1が1号、P2が4号)

担当者名 宮城 花子
電話番号 XXX-XXX-XXXX
メールアドレス XXX@XXXX.jp

| 法人名 | 事業所番号 | 介護サービス事業所名 | 介護サービスの種別 | 定員数 |
|-----------|-----------|-------------|-------------------------------------|-----|
| 社会福祉法人〇〇会 | 04XXXXXXX | 特別養護老人ホーム〇〇 | 介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(介護予防) | 29 |

サービス種別はプルダウンから選択

事業区分2号の場合は(2)~(5)は記入不要

1 介護ロボット等導入計画(要綱第2条第2項第1号から第3号に掲げる事業)
下記(1)~(6)の全てを記載願います。(要綱第2条第2項第2号に掲げる事業については(1)及び(6)のみ)

| | | |
|--|--|---------------------------------|
| (1)補助金により導入する介護ロボット等の名称 | 見守り〇〇 | 今回導入は下線 |
| (2)(3)を達成するために使用する機器の名称(製品名) ※少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用すること。(既に導入している機器も含む。) | 見守りセンサー インカム・スマートフォン等ICT機器 介護記録ソフト | 見守り〇〇 インカム「〇〇」 介護記録システム〇〇 |
| (3)(1)及び(2)の活用による介護職員等の人員体制の変化 | ①従前の人員体制 ②介護ロボット等導入後(見込み) | 〇名 〇名 |
| (4)上記に記載した介護ロボット等導入後の人員数の増減を見込む理由 | 夜間の見守り業務の負担が軽減され、〇名で行っていた夜勤が〇名で行えるようになる。 | |
| (5)上記に記載した介護ロボット等導入後の人員体制となる時期(見込み) | 〇月 | |
| (6)利用者のケアの質の向上や職員の休憩時間の確保等、負担軽減に資する具体的な取り組み | 夜間巡視の回数を減らし、職員の休憩時間を確保する。また、訪室回数が減少することで利用者の眠りの質が向上する。 | |

2 ICT導入計画(要綱第2条第2項第4号に掲げる事業)
下記(1)~(3)のうちいずれか該当するものを記載願います。

事業区分1号~3号の場合は以下は記入不要

| | |
|---|--|
| (1)LIFE標準仕様に準拠した介護ソフトを使用してLIFEにデータを提供している又は提供を予定しており、利用申請を行っている | ①既に提供している(提供を始めた時期:) ②利用申請を行っている(申請の時期:) 又は申請を予定している(申請予定の時期:) ③LIFE標準仕様に準拠した介護ソフトを使用している(はい・いいえ) |
| (2)ケアプラン標準仕様に準拠した介護ソフトを使用して事業所内・事業所間で居宅サービス計画書等のデータ連携を行っている又は行うことを予定している (既存の情報共有システムやデータ連携サービスを利用して、同一事業所内に加えて、異なる事業所間や地域の関係機関間においてデータ連携を行っている場合) | ①既に行っている ・開始した時期() ・具体的なデータ連携の内容() ・連携先() ・連携方法() ②行うことを予定している ・開始する時期(見込み)() ・具体的なデータ連携の内容() ・連携先() ・連携方法() ③ケアプラン標準仕様に準拠した介護ソフトを使用している(はい・いいえ) |
| (3)文書量半減を実現させる計画である (例:介護報酬の請求に関する文書(サービス提供表、介護給付費明細書等)、実施記録(送迎、入浴等)等) | ①半減させる文書の内容() ②減少させる枚数 導入前:()枚 導入後:()枚 |

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改定版」(厚生労働省老健局・令和4年度3月発行)や令和4年6月17日老高発0617第1号『「介護サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引きVer.2」の発出について』における「介護サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引きVer.2」を参考に記載すること。

令和5年度介護ロボット・ICT導入支援事業計画書(3)

担当者名 宮城 花子
 電話番号 XXX-XXX-XXXX
 メールアドレス XXX@XXXX.jp

| 法人名 | 事業所番号 | 介護サービス事業所名 | 介護サービスの種別 | 定員数 |
|-----------|------------|-------------|--|-----|
| 社会福祉法人〇〇会 | 04XXXXXXXX | 特別養護老人ホーム〇〇 | 介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(介護予防を含む) | 29 |

1 介護ロボット等導入計画(要綱第2条第2項第1号から第3号に掲げる事業)

下記(1)～(6)の全てを記載願います。(要綱第2条第2項第2号に掲げる事業については(1)及び(6)のみ)

| | |
|--|--|
| (1)補助金により導入する介護ロボット等の名称 | |
| (2)(3)を達成するために使用する機器の名称(製品名) ※少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用すること。(既に導入している機器も含む。) | 見守りセンサー インカム・スマートフォン等ICT機器 介護記録ソフト |
| (3)(1)及び(2)の活用による介護職員等の人員体制の変化 | ①従前の人員体制 ②介護ロボット等導入後(見込み) |
| (4)上記に記載した介護ロボット等導入後の人員数の増減を見込む理由 | |
| (5)上記に記載した介護ロボット等導入後の人員体制となる時期(見込み) | |
| (6)利用者のケアの質の向上や職員の休憩時間の確保等、負担軽減に資する具体的な取り組み | |

2 ICT導入計画(要綱第2条第2項第4号に掲げる事業)

事業区分4号の場合は以下を記入

下記(1)～(3)のうちいずれか該当するものを記載願います。

| | |
|---|--|
| (1)LIFE標準仕様に準拠した介護ソフトを使用してLIFEIにデータを提供している又は提供を予定しており、利用申請を行っている | ①既に提供している(提供を始めた時期:) ②利用申請を行っている(申請の時期:令和〇年〇月)又は申請を予定している(申請予定の時期:) ③LIFE標準仕様に準拠した介護ソフトを使用している(はい・いいえ) |
| (2)ケアプラン標準仕様に準拠した介護ソフトを使用して事業所内・事業所間で居宅サービス計画書等のデータ連携を行っている又は行うことを予定している (既存の情報共有システムやデータ連携サービスを利用して、同一事業所内に加えて、異なる事業所間や地域の関係機関間においてデータ連携を行っている場合) | ①既に行っている ・開始した時期() ・具体的なデータ連携の内容() ・連携先() ・連携方法() ②行うことを予定している ・開始する時期(見込み)(令和〇年〇月) ・具体的なデータ連携の内容(ケアプラン、サービス提供票、介護記録、〇〇…) ・連携先(特別養護老人ホーム〇〇、〇〇(事業所名)) ・連携方法(クラウドまたはCSVデータによる) ③ケアプラン標準仕様に準拠した介護ソフトを使用している(はい・いいえ) |
| (3)文書量半減を実現させる計画である (例:介護報酬の請求に関する文書(サービス提供表、介護給付費明細書等)、実施記録(送迎、入浴等)等) | ①半減させる文書の内容(①サービス提供表 ②送迎記録) ②減少させる枚数 導入前:(①年間10,000枚 ②年間20,000枚) 導入後:(①年間5,000枚 ②年間10,000枚) |

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改定版」(厚生労働省老健局・令和4年度3月発行)や令和4年6月17日老高発0617第1号『介護サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引きVer.2』の発出について』における「介護サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引きVer.2」を参考に記載すること。